

提出 順番	No. 4	平成 30 年 11 月 26 日 午前・午後 4 時 6 分受領
----------	----------	--------------------------------------

平成 30 年 11 月 26 日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 谷口 和弥 

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 合同墓（共同墓地）を新設し承継問題などの解消を	<p>少子高齢化や核家族化などにより、お墓を取り巻く環境は厳しい現状であるとの報道がされている。承継も含めてお墓の維持管理が困難な状況にある人、経済的理由により墓じまいをする人、お墓の建立やお寺への納骨ができないまま、やむを得ず自宅にお骨を保管している人、身寄りがいないなど血縁や社会における無縁により、自分が亡くなった後の行方、将来に対する不安を抱いている人などから、厳しい現状を解決する手法のひとつとして、自治体による「合同墓」の設置を望む声が多く出されているという。</p> <p>ある民間の調査では、北海道において「共同墓」は、1989年に初めて札幌市内に1か所が設置され、以降しばらく1市だけであったものが、2013年には4市となり、2015年には新たに5市町、2016年から2018年にかけては9市町が設置していると報告されている。「共同墓」を設置している自治体数は現在18市町となり、さらに今後2町が検討準備を進めているとのことである。</p> <p>幕別町民からも出されている「合同墓」設置を要望する声に対して、町の考えを伺う。</p>
2 「こども食堂」などの子どもの居場所づくりを積極的に	<p>今年8月4日、「広がれ、こども食堂の輪！全国ツアーin道東」が帯広市で開催された。無料や低価格で子どもに食事を提供する「こども食堂」は、子どもの貧困対策や居場所づくりに始まったものであるが、地域に定着し、幅広い子どもを受け入れることで「支援の入り口」として存在感</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	<p>を増し、地域の人々がつながる場になっているなどの報告がされていた。</p> <p>十勝総合振興局は11月16日に「子どもの貧困対策十勝総合振興局地域ネットワーク会議」を開催し、「こども食堂」など、子どもの居場所づくりの取組について議論や情報共有を行う「こども食堂部会」を設置した。さらに同振興局がまとめた新年度事業の重点プロジェクトでは、9項目の一つに「こども食堂」への食材提供などに協力する企業を集めた応援団づくりを進めることを掲げている。</p> <p>幕別町においては2015年、「幕別町子ども・子育て支援事業計画」を策定した。幕別町次世代育成支援対策地域協議会では「子どもの生活実態調査」を今年度すでに実施し、2020年度からの第2期「幕別町子ども・子育て支援事業計画」策定にかかるニーズ調査も今年度実施予定としている。「こども食堂」をはじめとする、子どもの居場所づくりの議論も始まっているものと推察するところである。</p> <p>については、以下の点を伺う。</p> <p>(1)「子どもの生活実態調査」のアンケートの調査内容や方法・回収率、また回収されたアンケートでは子どもの居場所づくりに対する要望はどうであったか。</p> <p>(2)「こども食堂」は道内でも3年ほど前から広がり始め、現在は110か所以上で運営されているという。「こども食堂」や学習支援といった子どもの居場所づくりを、幕別町は積極的に支援していく考えはあるか。</p>